

未来のために「米米クラブ」田植え体験・稲刈り体験

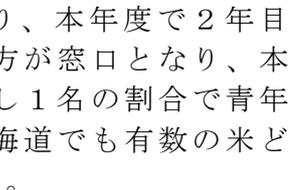
目 標

- ・北海道の代表的な農産物の一つである米について、各自がテーマをもって調べる活動を通して米に対する興味・関心を高め、知識・理解を深める。
- ・田植えや稲刈りなどの体験を通して、農業に携わる人々の工夫や努力に気づき、感謝の気持ちをもつ。

育てたい力

- 稲作や農業について、興味・関心をもったことをテーマとして調べ、米の生産の発展や課題について考えることができる。
- 体験活動を通して気付いたことをまとめ、相手意識をもって工夫して表現する。

主な学習活動（総合的な学習の時間：29 時間 家庭科：3 時間）

<p>米について 学ぶ (4 月)</p>	<ul style="list-style-type: none">・総合的な学習の時間の一つの活動「米米クラブ」の中で、米について My テーマを考え、調べる活動を行った。米の栽培の仕方や米の種類、米を使った料理など子どもが別々の課題をもって学習に取り組んだ。	
<p>田植え体験 (6 月)</p>	<ul style="list-style-type: none">・昨年度より新篠津にて農業体験を行っており、本年度で 2 年目の取組である。今年度も JA 石狩の青年部の方が窓口となり、本学習を行うことができた。子ども 10 名に対し 1 名の割合で青年部の方が指導に当たってくれた。新篠津は北海道でも有数の米どころなので、その広さに子どもは圧倒された。	
<p>稲刈り体験 (10 月)</p>	<ul style="list-style-type: none">・天候不順で稲の生育が悪いことから 9 月に予定されていた稲刈りは 10 月の中旬に変更になった。4 人で一つの鎌を持って、1 グループあたりおよそ 6 m² 稲穂を刈り取った。現在、農家では、手で稲穂を刈り取ることはないの、特別に体験させていただき、コンバインを使っての刈り取りも見せていただいた。	
<p>調理 (11 月)</p>	<ul style="list-style-type: none">・家庭科の調理実習で収穫した米を炊いて食べた。額に汗して植えて、収穫した米はいつも食べている米よりおいしく感じられた。	

取組を終えて

子どもの声（感想）

「田植えをした時から、とても大きくなり、立派な稲になって稲刈りをして楽しかった。社長さん（農家の方）の分かりやすいアドバイスのおかげで稲がたくさんとれました。社長さんと歩きながら質問したり、ご飯を食べながら話したり楽しかったです。」

取組の成果

今年度は、JA 石狩の青年部がグリーンツーリズムの一環として本校の農業体験に協力していただいた。対応してくれた農家の青年たちは、ほとんどが経営者であるため、子どもは、対応してくれた方々と触れ合う時間の中で、様々なことを学習することができた。今回の農業体験は、キャリア教育としての意味合いももち、有意義な活動となった。

体験先、関係機関

竹村農園（新篠津村、石狩地区農協青年部連絡協議会）